

令和5年度研究科入学者選抜試験問題（第2次募集）出題意図
《医学系研究科 看護学専攻 博士後期課程》

外国語（英語）

出題意図

医療・看護学分野の英文を読み、英文法を十分理解し、正確な読解力と大意を把握する能力など看護学専攻大学院生として必要な英論文の読解と作成する能力および基礎的学力の程度を確認することを意図として出題した。

解答例

問1 状況によっては、終末期の入院が適切で避けられないと考えられる場合もありますが、入院のメリットが潜在的な負担を上回るかどうかを批判的に議論されることがよくあります。

問2 一般的な住民の病院での死亡する割合にはヨーロッパ諸国間で大きなばらつきがあること。

問3 病院で死亡する中央値の割合が最も日本が高い理由として、日本の老人ホームでは24時間看護を提供していないところが多いためと説明している。

問4 アドバンスケアプランニングは、健康が悪化する前に、将来の治療とケアに関する患者の希望を具体化させることを目的としています。このようにして、終末期の不要な病院への転院を減らすことができ、緩和ケアの利用、生活の質、およびケアに対する患者の満足度を高めることができます。